

■2020年度休眠預金等活用法に基づく助成事業

「子ども若者が主体の持続可能な地域づくり～もう一度、『地元のできること』を探そう～」(採択団体)

No.	団体名	振興局/市町村	事業対象地域	申請事業名	申請事業概要	選定理由	助成額(円)
1	NPO法人のこたべ	渡島総合振興局	亀田郡七飯町及び近隣市町村	食と職をつなげる高校生起業塾 ～Food×風土＝道南の食と職をつなぎ、地域の若者を「地域でメシが食える起業家」に育てるプロジェクト～	地域の若者が主体となって道南の生産者の生業を体験プログラム化(商品化)をすることによって6次化を推進します。そのプロセス(起業課程)において、家庭内に課題を抱える子と親が参加できる食育イベントを造成しつつ、その企画運営に成長に困難を抱える若者を関与させることで「主体性」と「地域への愛着」を育みます。具体的にはワークショップを通じて大沼学を始めとする地域が取り組んでいる郷土愛学習と連携しながら、七飯町及び道南の魅力を再発見する研修の場を繰り返しながら、そこで掘り起こされた地域資源(観光資源と教育資源)を6次化による起業に活用するキャリア教育へと発展させます。そのキャリア教育の一環として高校生や大学生などの働き手が6次化産業の中に自身の活躍の場を見いだせる環境を整えます。最終的には地域の若者達の起業思想を育て「地域でメシを食えるチカラ」を養います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の趣旨に合致しており、子どもたちに主体性を持たせられるという点で素晴らしい。</li> <li>・高校生が都会に進学しても良いという考え方をもち、都会に出たからこそ地元の良さが分かる、外に出て帰ってこられるという視点があることを評価した。</li> <li>・ガバナンス・コンプライアンスが懸念される。さらには申請団体と関連団体との運営の切り分けの意識がなされるとより良い。</li> </ul>	16,794,680
2	一般社団法人 十勝うらほろ 楽舎	十勝総合振興局	浦幌町	地域の担い手育成事業～うらほろスタイル・イニシアチブ	町内の子ども・若者が社会を担うための「たくましく生き抜く力」を身につけるための機会創出、町外に出た若者が町との多様な関わりを持つための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦幌町の地域の規模感で様々なステークホルダーを巻き込んで事業の遂行が可能である点の評価した。小さな地域だからこそできることに期待する。</li> <li>・実施活動拠点での家賃、場所の運営費用が見えず、場所の継続性について懸念される。</li> <li>・ガバナンスなどを評価しにくい状況であった。今後、整理が必要。</li> </ul>	17,000,000
3	NPO法人いきたす	—	北海道全域	地方における道立高校の存続と人口減少化の課題に対する若者世代への啓蒙とスキル育成	上士幌町ですでに実践ステージが上がっている、カタリバの実施、高校コーディネーターの配置、マイプロジェクトへのエントリーといった状況がある。これと類似したステージまで他の自治体でも展開できるように引き上げていく事業。事業期間の3年間で、3つ4つ程度の自治体が新たに試み始めることや、試みる前に興味を持つ段階、すでに取り組んでいる自治体や高校に対してはステージを上げていくための業務支援を行う。最終的には、コーディネーターを核とした地域と学校のスタイルの確立を目指す。(学校が舞台である事業のため、貧困や発達障害などの生徒との関わりも当然発生してくる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生に近い子どもたちと話す機会を作っていくことは素晴らしい活動であり、今の教育のシステムも理解しており必要性のある事業であると認識した。事業の拡散、拡大に期待。</li> <li>・団体の資金規模が拡大しているが、基本的に代表者のみが活動実行に至っている視点から、今後の団体の基盤整備が重要。</li> </ul>	16,200,000